

「保育者の自己評価のためのチェックリスト」の公表

このことについて、毎年保育所内で行っている、保育士さんの自己評価をまとめて公表することが、法律により努力義務となりましたので公表いたします。

チェックリスト

次のチェックリストを保育士全員に渡し、各人毎に評価をさせました。

保育者の自己評価のためのチェックリスト

園名： 緑ヶ丘保育所

A：かなりできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできていない

第1章 総則

1. 教育及び保育の基本と目標

	設 問	A	B	C	D
001	幼稚園、保育所、認定こども園に関する法令を読み、その内容を理解していますか？				
002	「教育要領」「保育指針」「教育・保育要領」を読んだことがありますか？				
003	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか？				

001～003 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 () 項目
001～003 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
001～003 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
001～003 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

2. 特に配慮すべき項目

(1) 教育及び保育の配慮

	設 問	A	B	C	D
004	登園時の子どもの健康観察を行っていますか？				
005	子ども一人一人に、分かりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけていますか？				
006	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまうことがないようにしていますか？				

004～006 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (3) 項目
004～006 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
004～006 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
004～006 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

(2) 健康支援

	設 問	A	B	C	D
007	子どもの中に感染症が発生したとき、発生状況や予防対策などをすぐに全保護者に連絡していますか？				
008	疾患のある子どもに対して、園医やかかりつけ医からの指示に基づいて対応をしていますか？				
009	子どもの体調が悪くなったときに、保護者をはじめ園医やかかりつけ医と連絡をとるように心がけていますか？				
010	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか？				
011	園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムを身につけるよう、保護者との連携に努めていますか？				
012	あなたは、不審者が園内に侵入した際、どのように対応するのかを理解していますか？				

007～012 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (6) 項目
007～012 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
007～012 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
007～012 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

(3) 食育

	設 問	A	B	C	D
013	子どもの体調に応じ、食事の量を調整したり、食べ物を残したり偏食したりするときは過度に叱らないように心がけていますか？				
014	その日の昼食の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせていますか？				

015	子どもが楽しく食べることができるように、食育の計画を作成していますか？				
016	食物アレルギーのある子どもに対して、園医やかかりつけ医と連携して除去食を取り入れるなどの配慮をしていますか？				

013～016 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (4) 項目
013～016 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
013～016 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
013～016 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

(4) 特別支援教育・障がい児保育

	設 問	A	B	C	D
017	障がいのある子どもの保育について、園で定期的に話し合う機会を持ったり、子どもに合わせた個別支援計画を立てていますか？				
018	障がいのない子どもも障がいのある子どもも、お互いの良さを感じ取るように保育の配慮をしていますか？				
019	特別支援教育、障がい児保育などに関する研修に、他のテーマの研修と同じように自ら進んで参加していますか？				
020	療育・医療機関などの専門機関から、子どもの障がいについて必要に応じて助言を受けていますか？				
021	障がいのある子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、信頼されるよう努めていますか？				

017～021 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (5) 項
017～021 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
017～021 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
017～021 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

第2章 子どもの発達

	設 問	A	B	C	D
022	子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか？				
023	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して、保育をしていますか？				

024	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか？				
025	園の生活になじみにくい子どもに対して、一人一人に応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか？				

022～025 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (4) 項
022～025 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
022～025 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
022～025 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

第3章 「ねらい」及び「内容」

1. 保育内容「健康」

	設 問	A	B	C	D
026	一人一人の子どもが明るく伸び伸び遊べるよう、いつも見守っていますか？				
027	健康的な生活のリズムを身につけるよう、一日の保育の時間配分や家庭との連携を取っていますか？				
028	食事の前や排せつの後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身に付くよう保育をしていますか？				
029	生活に必要な習慣が身に付くよう家庭との連携に努めていますか？				
030	災害時に子どもが取る行動について、日頃から丁寧に話し、火事・地震以外の災害を想定した避難訓練も行っていますか？				

026～030 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (5) 項
026～030 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
026～030 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
026～030 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

2. 保育内容「人間関係」

	設 問	A	B	C	D
031	自分のことは自分でしようとする意欲を持つよう励ましたり、見守ったり、その後達成感を味わえるように配慮していますか？				
032	友達と積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみを共感する機会を大事にしていますか？				

033	良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動できるように援助していますか？				
034	高齢者をはじめ、地域の人々などに親しみを持つような機会を保育に取り入れていますか？				

031～034 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (4) 項目
031～034 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
031～034 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
031～034 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

3. 保育内容「環境」

	設 問	A	B	C	D
035	子どもが自然に観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さなどに気付くように援助していますか？				
036	園生活の中で、自然や身近な事象に関心を持つことができるように、環境を工夫していますか？				
037	身近な動植物を飼育・栽培する中で、それらをかわいがったり、いたわったりする体験を大切にしていますか？				
038	数量や図形などに関心を持つように、生活の中で数を数えたり、形を意識したりするなど、工夫して保育していますか？				

035～038 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (4) 項目
035～038 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
035～038 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
035～038 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

4. 保育内容「言葉」

	設 問	A	B	C	D
039	あなたは子どもの発達や理解力、生活経験に合わせた言葉で保育していますか？				
040	子どもが分からないことを尋ねたりできるように、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答する雰囲気を作っていますか？				
041	「貸して」「いいよ」など、生活の中で必要な言葉を知らせ、それを理解して使うことができるように、配慮していますか？				

042	紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉のおもしろさに気づくよう心がけていますか？				
-----	--	--	--	--	--

039～042 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (4) 項目
039～042 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
039～042 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
039～042 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

5. 保育内容「表現」

	設 問	A	B	C	D
043	歌ったり、踊ったりして、表現の楽しさに気づくように援助していますか？				
044	感動したことを伝え合う機会を作り、豊かに表現できるよう援助していますか？				
045	子どもが様々な楽器を使う機会を提供し、音楽に親しみを持ち、楽しめるように工夫していますか？				
046	自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、演じて遊んだりして楽しめる機会を作っていますか？				

043～046 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (4) 項目
043～046 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
043～046 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
043～046 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

第 4 章 低年齢児の保育実施上の配慮事項

1. 乳児期の保育に関する配慮事項（乳児期保育担当者）

	設 問	A	B	C	D
047	あなたは保育者として服装や身支度などにも配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか？				
048	室内の温度や湿度、換気をたえずチェックし発育及び発達の状態をよく把握した上で、常に体の状態を細かく観察していますか？				
049	一人一人おむつを交換する度に、手洗いを徹底していますか？				
050	一人一人の子どもの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか？				

051	床に誤飲しそうなものが落ちていないように、十分注意を払っていますか？				
052	戸外遊びを行うなどの機会を設け、身体を適度に動かす遊びや、リズムを伴った触れ合い遊びを十分に取り入れていますか？				
053	子どもの健康状態の急変に対応できるよう、日頃から園医やかかりつけ医、専門医などと連携が取れていますか？				

047～053 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (7) 項目
047～053 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
047～053 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
047～053 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

2. 満1歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項

	設 問	A	B	C	D
054	基本的な生活習慣の習得については、子ども一人一人の発達過程に合わせ、無理なく行っていますか？				
055	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、いつも確認していますか？				
056	自分でやり遂げる喜びや自信を持つことができるよう、配慮していますか？				
057	進級などで保育者が替わる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報を共有していますか？				

054～057 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (4) 項
054～057 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
054～057 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
054～057 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項

	設 問	A	B	C	D
058	指導計画は「教育課程」あるいは「保育課程」などに基づいて作成し、1年に1回以上確認するなどの会議を開いていますか？				
059	指導計画には、教育及び保育の期間や子どもの生活経験、発達の過程などを考慮して具体的なねらいと内容が設定されていますか？				
060	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画				

	に書き込まれていますか？				
061	入園時期には生活のリズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成していますか？				
062	日々の保育記録を子ども一人一人の発達理解し、日々の保育記録の記入項目を職員全体で話し合って決めていますか？				
063	あなたの保育の内容は、子どもの発達過程に合ったふさわしい活動や体験であると説明できますか？				

058～063 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (6) 項目
058～063 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
058～063 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
058～063 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

第6章 研修と自己評価

	設 問	A	B	C	D
064	あなたは園の保育理念や基本方針を正しく述べることができますか？				
065	自らの判断で、園の内外における研修・研究活動に積極的に参加していますか？				
066	自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽していますか？				
067	「教育要領」や「保育指針」「教育・保育要領」に、園の自己評価が努力義務などとして位置づけられているのを知っていますか？				
068	園の保育内容などについての自己評価の結果を公表するように努めなければならないのを知っていますか？				

064～068 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (5) 項目
064～068 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
064～068 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
064～068 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

第7章 子育て支援

	設 問	A	B	C	D
069	子育ての悩み等を安心して話せる様に、送迎の際、保護者と言葉を交わしたり、連絡帳で情報を交換したりするようにしていますか？				
070	保護者からの相談内容などをあなた一人の問題にしないで、園全体				

	で受け止めようとしていますか？				
071	地域の家庭を対象とする相談や遊び場の提供など、子育て支援のための園の取り組みを理解していますか？				
072	子育てについて、地域の関係機関や団体などとの連携及び協力を図り、地域の人材の積極的な活用を図るように努めていますか？				
073	一人一人の子どもについて、虐待を見抜くことができるように配慮していますか？また、通告を行う園の体制を理解していますか？				

069～073 の設問の内「A」と回答した項目数	() 項目	計 (5) 項目
069～073 の設問の内「B」と回答した項目数	() 項目	
069～073 の設問の内「C」と回答した項目数	() 項目	
069～073 の設問の内「D」と回答した項目数	() 項目	

公表にあたって

今年度初めての取り組みであり、チェックリストそのものが公表に向けた形式でなくチェックの基準もない大変不備なものでした。

例えば、

「設問021」障がいのある子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、信頼されるように努めていますか？

という設問には「あなたが障がい児さんの担当あるいは障がい児さんのいるクラスの担当である場合」というような前提条件が必要でした。前提条件なしのチェックリストでしたので、この場合担当以外の保育士は当然 D 評価となります。

また、A～D の段階評価をするための「どの程度なら B で、どれくらいの回数なら D」というような、ある程度保育士が判断する基準も示されていないチェックリストでした。

その他数多くの設問に不備や不足がありました。

このように各保育士がチェックしたものを数的に集計した場合、当保育所の実態を正確には表せないので、保育士が提出したチェックリストを所長が点検したものを全体的な評価として、公表します。

保育士の自己評価を見て

第1章 総則

1. 教育及び保育の基本と目標

保育所に関する法令とその理解についてはほとんどの保育士が大変低い評価でした。「保育指針」等を読んだことがあるか、乳幼児期の保育は人間形成の重要な時期あることへの理解はかなり高い評価であった。保育士といえども保育所に関する法令（例えば定員はどうして決まるか、保育所・幼稚園・認定子ども園の違いは・・・）は必要な知識であるので、今後職員会議や研修会等を開いて理解する場を設けなければと思います。

2. 特に配慮すべき項目

(1) 教育及び保育の配慮

保育士の全んどが A 評価でした。

(2) 健康支援

これも全んどの保育士が A 評価でした。

(3) 食育

全んどのが A 評価でしたが、設問 015 の「子どもが楽しく食べることができるよう、食育の計画をしていますか？」では、食育の計画とは配膳の工夫やことばかけの意味ですが、献立の立案と捉えたようで D 評価となっている保育士も多数ありました。なお、献立は栄養士が立案したものを職員全員が参加している職員会議で検討して決定しています。

(4) 特別支援教育・障がい児保育

項目によって大きく分かれました。障がい児保育担当者や障がい児のいるクラス担当者は全ての項目で高評価でしたが、それ以外の保育士は 017、019、020 の設問に対しては C あるいは D 評価でした。これは当然の結果と受け止めています。ただし、018 「障がいのない子どもも障がいのある子どもも、お互いの良さを感じ取るように保育の配慮をしていますか？」については全員が高い評価が出せるように研修を深めなければならないと思います。

第2章 子どもの発達

チェック項目 4 つとも高い自己評価でした。特に 025 「園の生活になじみにくい子どもに対して、一人一人に応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか？」も高い評価でしたので、喜んでいます。

第3章 「ねらい」及び「内容」

1. 保育内容「健康」

おおよそ高い評価でした。ただし030「災害時に子どもが取る行動について、日頃から丁寧に話し、火事・地震以外の災害を想定した避難訓練を行っていますか？」については、D評価もありました。保育所では火事・地震・水害については定期的に訓練を行っていますが、それ以外、特に不審者対策は対応の方法の手順を職員会議等で話し合っているだけで、訓練は行っていないことが影響していると思います。不審者対策も重点的に行わなければならない時代ですが、保育所内で暴力に立ち向かうのは難しいというのが実情です。これは、フェンスを高くする、防犯の監視カメラ設置（園の門を施錠した上で、全訪問者の確認する）等設備の充実に頼らざるを得ないと思っています。

2. 保育内容「人間関係」

これは保育所として最も重視している項目ですが、総じて高い評価で安心しました。034「高齢者をはじめ、地域の人々などに親しみを持つような機会を保育に取り入れていますか？」について運動会・発表会などの保育所での生活の発表の場に保護者さんをはじめたくさんの方々に来られ触れ合いの場となっていますが、もっともっと高齢者施設の訪問等を実施しなければと思います。

3. 保育内容「環境」

高い評価でした。ここでの設問は主に「自然と親しむ」ことが重点に取り上げられていますが、当保育所では「自然とは身の周りにあるものすべて」という保育の原点を重視しています。身の周りにあるものとは、道路・車・人なども含まれます。その中で最も大切なものは人です。すなわち保育所では保育士です。

そのような理念のもと保育案を策定しています。それとは別に幸いなことに当保育所の周囲には、すぐ裏にはきれいな日本海、近くに万葉公園があります。お散歩などを通して、このような美しい大自然と触れ合えることは素敵なことだと思っています。

4. 保育内容「言葉」

とても高い評価でした。保育所では「言葉」は子どもにとって保育者・友だちと触れ合うためにもっとも大切なものです。と同時に保育者にとっても園児と生活をともにするための一番の手段でもあります。また、「言葉」は園児が現在から将来にわたる様々な知識を深めるための大きな基礎でもあります。そのために当保育所では3.「環境」と同様に重要視して保育に努めたいと思っています。

5. 保育内容「表現」

高い評価でした。この「表現」は保育士にとって資格を取るためにおそらく最も苦勞したものの一つです。幸いに当保育所の保育士はおそらく相当な努力をしたと思いますが、さまざまな「表現」活動のいずれかは自信を持てるレベルで卒業したものと思われまゝ。これからも、その力を園児とともに發揮してもらいたいものです。

第4章 低年齢児の保育実施上の配慮事項

1. 乳児期の保育に関する配慮事項（乳児期保育担当者）

053「子どもの健康状態の急変に対応できるよう、日頃から園医やかかりつけ医、専門医などと連携が取れていますか？」以外全員 A 評価でした。この設問の受け止めが全園児個人個人について毎日連携しているか（「日頃から」という表現を「毎日」の意味に）、と誤解したものと思います。当保育所では入園時及び年2回定期的に園医の診断を受けています。また保護者からかかりつけ医の聞き、注意すべきことから（例：アトピー、ぜんそく、熱性けいれん、アレルギー）があればかかりつけ医あるいは専門医と相談して、対処の方法を確認しています。また、毎日数回検温を実施し、乳児については睡眠中は5分ごとに呼吸の確認、うつ伏せ寝の体勢移動などを実行しています。

2. 満1歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項

全員 A 評価でした。057「進級などで保育者が替わる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報を共有していますか？」について、新年度に入る時は保育要録（全年齢にあります・益田市保育研究会のみの取り組み）によるもののほか口頭での引き継ぎの時間を設けて行っています。交代後も必要に応じて前任者から情報を提供することとしています。

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項

全んどの設問で高い評価でした。当保育所の指導計画は年間のもの、月間のもの、週間のものそして日々の保育日誌があります。それぞれの計画は職員会議及び主任保育士・所長の確認を得て決定されています。なお、062「日々の保育記録を子ども一人一人の発達理解し、日々の保育記録の記入項目を職員全体で話し合っ決めていいいますか？」については、もちろん記入項目の主な項目は全保育士で共通化していますが、より具体的な部分は子ども一人一人の発達段階や性格などの違いを尊重すべきとの観点から担当保育士が行っています。

この評価のまとめとは関係ないことですが、保育士は本務の保育以外に、上記のような事務的な仕事のほか、「お便り帳」の記入などもあり、正直過重労働だと思います。せめて事務的な仕事は減らすことはできないものか苦慮しています。

第6章 研修と自己評価

この章の5つの設問は評価が低いものでした。これは、当保育所の職員研修は年間計画を立て、その計画に基づき対象の職員を参加させています。従って保育士個人がこの研修に参加したいという選択の幅が狭くなっているためだろうと考えます。今後は年度当初、保育士の希望を聞き、年間の研修計画を立てる必要があると考えます。また、自己評価を行わなければならないこと、その自己評価の結果を公表しなければならないことが努力義務となっていることについては、最近の法改正なので当園が職員に徹底してなかったためと考えます。

第7章 子育て支援

おおよそ高い評価でしたが、072「子育てについて、地域の関係機関や団体などとの連携及び協力を図り、地域の人材の積極的な活用を図るよう努めていますか？」についてはほとんどがCまたはDの評価でした。これは保育所外との連携を計画・実施する者が所長及び主任保育士であるため低い評価になったものと思います。当保育所は益田市保育研究会・島根県・益田市・児童相談所・保健所・小中学校・医院・民生委員・警察・消防署・公民館等々地域の子育てに関する様々な団体、個人と常に連携をとらせていただきながら保育を行っています。